

株式会社SUBARU技術開発部門OB会 会員各位

(株)SUBARU技術開発部門OB会
事務局 金坂・高橋

盛夏の候、皆様方におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。
会社からのご挨拶および最近のOB会活動状況をお送りします。

(1) OB会ホームページ開設のお知らせと、会員皆様へのお願い

本会が発足から現在に至るまで活動してきたその記録と、会員・関係者・会社での情報共有の場として、及びコミュニケーションの場とすることを目的に開設しました。

また、OB会経費節減のため、会員皆様にご協力をいただきたく、詳細を別紙にまとめました。何卒よろしくお願い致します。

(2) 第23回定期総会

当日は群馬会場に63名、東京会場に12名の会員、また(株)SUBARUから岡本商品革新本部長、渡森技術本部副本部長、青木労働組合常任執行委員にご来賓として出席を頂き、総勢84名が参加し盛大に行われました。

今回は、群馬 イノベーションハブホールと東京事業所 本館の会場とをWeb会議システムで繋ぐ技本OB会として初めての二元開催としました。テストコース内・衝突試験場では大勢の方々が現場で実見させて頂くと共に、群馬会場・東京会場では大型モニターに実況映像を投影しました。

当日の様子をスナップ写真中心にまとめ、OB会ホームページ(ホーム/活動/第23回定期総会)に掲載しましたので、ご参照ください。

(3) 次回、第24回定期総会について

2027年5月に、新規性ある趣向での検討を進めています。
詳細は2027年2月頃にご案内いたします。

(4) 金山ハイキングのご案内

2026年11月22日(日)の予定です。健康増進の為に、皆様のご参加をお待ちしています。

昨年に引き続いて今回もハイキング後に、蕎麦打ちをします。「蕎麦だけ食べたい。」という方も歓迎いたします。詳細は別紙『金山ハイキングのご案内』をご参照ください。

(5) フォトクラブ悠 会員募集中！

これから写真を始めたい方、歓迎します。また、初級写真講座なども計画しております。
詳細は別紙『フォトクラブ 悠 会員募集の案内』をご参照ください。

(6) 随筆集「思い出の記」の原稿を募集いたします

思い出、趣味、自分史、現在の活動等々、どのような分野でも結構です。是非ご投稿をお願いいたします。詳細は別紙「「思い出の記」第22集の原稿を募集」をご参照ください。

その他、OB会活動に対するご意見、ご要望が有りましたら、いつでも事務局にお寄せ下さい。
なお、暑さ厳しき折、体調にお気を付けてお過ごしください。

以上

令和 8 年 8 月吉日

技術開発部門OB会 会員の皆様

株式会社SUBARU
技術管理部長 松尾崇邦

ご挨拶

拝啓 立秋とは名ばかりの厳しい暑さが続いておりますが、長年にわたりSUBARUを支え、お力を尽くしてこられた諸先輩の皆様おかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。日頃より当社へ温かなお心をお寄せいただき、心より御礼申し上げます。

さて、皆様が一つひとつ積み重ねてこられた確かな礎の上に、SUBARUは今、大きな変化の時代を歩んでおります。世界に目を向けますと、各地の地政学的な緊張や資源・エネルギー情勢の不安定さ、通商環境の急激な変化など、先行きの見通しづらい状況が続いております。とりわけ、当社にとって最大の市場である米国での関税措置は、大きな試練となっております。

こうした中にあっても、昨年11月に公表いたしました「SUBARU 2025 方針」のもと、社員一同、変化を恐れず前へと歩みを進めております。本方針で私どもは、「安心と愉しさ」というSUBARUが追求し続けてきた提供価値を礎に、お客様の人生に寄り添い「存在感と魅力ある企業」となることを目指しております。その実現に向け、開発・生産から人と組織のあり方に至るまで「モノづくり革新」と柔軟な体制づくりを推し進めております。コスト改革「原価維新」にも全社を挙げて挑み、いかなる環境変化にも揺るがぬ、たくましい企業基盤を築いてまいる所存でございます。

商品の面でも、着実に歩みを進めております。電気自動車では、ソルテラに続く第二弾として、群馬の矢島工場で生み出すバッテリーEV「トレイルシーカー」を世に送り出し、SUBARUならではの確かな走りがご好評をいただいております。ハイブリッドでは、ストロングハイブリッド「S:HEV」をレイバックへと広げてラインアップを充実させ、さらには「操る愉しさ」を求めて、マニュアルトランスミッション車の開発にも新たに取り組み始めました。電動化を進めながらも、SUBARUらしい走る喜びを守り続けてまいります。

一方、航空宇宙事業も、大きな節目を迎えております。世界的な航空需要の回復を背景に、ボーイング社航空機の中央翼をはじめ受注は力強く伸び、増え続けるご注文に生産を間に合わせるべく奔走している状況でございます。防衛・民間・ヘリコプターの三つの柱それぞれで、生産の増強と品質の維持に日々懸命に努めておりますが、この活況もまた、諸先輩が長年にわたり築かれた技術と信頼の厚みがあればこそでございます。

末筆ながら、時代がいかに移ろいしましても、皆様がお示しくくださった誠実なものづくりの心を、私ども社員一同しかと受け継いでまいる所存でございます。諸先輩の皆様のますますのご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げますとともに、今後とも変わらぬご指導ご鞭撻を賜りますよう、謹んでお願い申し上げます。

敬具

2026年8月1日
技本OB会 幹事会

OB会ホームページ (HP) 開設のお知らせと、お願い

拝啓 日頃より当会運営に格別のご尽力を賜り厚く御礼申し上げます。

かねてよりご案内しております通り、当会の会員数は2018年度378名をピークに減少を続け、本年7月末現在298名(80名の減少)となっていました。この事は16万円(約21%)の収入減少を示しています。一方、郵便料金の値上げなど物価高やその他の影響を受け、収支は極めて深刻な状況に直面しています。

SUBARU 技術管理部のご協力をいただき、定年退職予定の方々への説明会の開催など、一定の成果が得られていますが、抜本的な改善には至っていません。これまでの経費節減努力も限界に近づいております。

次善策の一つとして、ホームページ(以下、HPという)を開設いたしました。

これによって、ただちに全ての課題を改善できる訳ではありませんが、活用次第では有効な手段とするべく期待しています。

つきましては、会員の皆様の絶大なるご協力が何よりも必須です。ご不便をお掛けすることもあるかと思いますが、下記の通り、HPへのアクセス方法、会員皆様へのご依頼事項を記載いたしましたので、ご協力の程、何卒よろしくお願い致します。

なお、本件はインターネットをご利用なさらない方々にまで、ご協力をお願いするものではありません。本件についてご承知おきいただけましたら、幸いです。

敬 具

記

1. HP開設の目的

本会が発足から現在に至るまで活動してきたその記録と、会員・関係者・会社での情報共有の場として、及びコミュニケーションの場として、永続的・発展的に運営していきます。

また、定期総会などイベント開催のご案内、総会資料、OB会便り等の資料、随筆集「想い出の記」は、従来は郵便でのみお送りしてきましたが、ご賛同いただける方にはこれら資料をHP上でお知らせする方法に段階的に替えさせていただき、費用節減を図りたいと思います。

2. HPアクセス方法について

- ・キーワード「SUBARU OB会」で検索、
タイトル「SUBARU技術開発部門OB会」を選択ください。
- ・右のQRコードからもアクセスできます。



HP アドレス

<https://www.subaru-tech-ob.com>

3. お願い

- ・HP上でのお知らせに変更し、郵送を廃止して良いかどうか、お伺いします。
- ・インターネットを利用しない等、郵送の廃止が不可の方には、従来通り郵送を継続します。

➡ 次ページをご参照いただき、HP上の「お問い合わせフォーム」に必要事項をご記入の上、送信してください。

技本OB会会員各位へお願い致します

定期総会などイベント開催のご案内、総会資料、OB会便り等の資料、随筆集「思い出の記」等は、定期総会の会場でのお渡し、または郵送(以下、郵送等という)でのみお送りしてきましたが、ご賛同いただける方にはこれら資料の郵送等を廃止し、HP上でお知らせする方法に替えさせていただきますと思います。

従来、郵送等でお届してきました、次の①～③の各項目について、郵送等の廃止にご協力頂ける場合は「○」を、廃止は不可の場合は「×」を下の記入例の通り、OB会 HPの「お問い合わせフォーム」にご記入いただき、送信してください。

- ① 定期総会などイベント開催のご案内、総会資料、OB会便り等の資料
- ② 随筆集「思い出の記」
- ③ 年会費等の払込書用紙、定期総会への出欠回答用はがき

【ご記入例】

お問い合わせフォーム

名前（必須項目）

富士太郎

フルネームでご記入をお願いします。

メールアドレス（必須項目）

メールアドレスを入力してください

HP上に新しいお知らせ等を追加したとき、その旨を電子メールでお知らせします。

電話番号（必須項目）

電話番号を入力

区分（必須項目）

☐ 入会

☐ 質問・相談

☐ 会員の方

ひとつお選びください

「会員の方」を選択してください。

お問い合わせ内容（必須項目）

① ○、② ○、③ ○

(ご要望・ご意見などありましたら、追記ください。)

郵送等の廃止にご協力くださる場合の記入例。
郵送の廃止が不可のものには「×」をご記入ください。
その他、ご要望などありましたら、ご記入ください。

送信

- ・ 随筆集「思い出の記」の郵送等廃止にご賛同くださる方の人数の関係上、紙印刷が引続き、必要になる可能性があります。この場合、**郵送等廃止にご賛同くださる方々にも代金を頂く事になります事、ご了承頂きたく何卒お願い致します。代金は今後も随時、見直します。**
- ・ 本件に関するお問い合わせは、OB会 HP「お問い合わせフォーム」にてお願い致します。
- ・ 従来通り郵送等の継続をご希望の方は、「お問い合わせフォーム」でのご連絡は不要です。

以上

金山ハイキングのご案内

OB会の皆様こんにちは、お元気ですか。

今年も太田市のシンボル金山ハイキングを紅葉の最高見頃と新そばの美味しい 11 月下旬に設定して、下記要領にて進めさせていただきます。

ハイキングは、綺麗なもみじ映え見どころコースを選んで歩こうかと考えております。また、太田市の1%まちづくり事業（市税収の1%を各種ボランティア団体の活動費に割振り太田市のまちづくり推進をする事業）で金山に関する事業実施個所の見学も交えて歩きたいと思います。事業名を幾つか挙げてみますと「金山カラタチ沢の整備」今では、初夏に蛍を観ることが出来ます。「金山城跡竹林整備事業」綺麗な竹林が観られます。「東山公園の水芭蕉群生地整備」シーズンには綺麗な水芭蕉を観ることが出来ます。「金山城址のボランティアガイド」今回OB会のためにあらためてガイドをお願いしました。

そしてハイキング後に太田市内産のそば粉を用いた蕎麦打ちをしますので、皆様に食べて頂きたいと考えております。

皆様の参加を楽しみにお待ちしております。

記

ハイキング

1. 日時 11月22日（日） 9：00集合
2. 場所 呑竜様北側大駐車場
※杖（ウォーキングポール・トレッキングポール等）有れば

蕎麦食会

ハイキング後、各自車で移動

1. 会場 太田市鳥之郷（トリノori）行政センター
住所:太田市新野町（ニノノori）203
電話:0276-32-6854
※蕎麦食のみ参加の方も大歓迎です。（集合11時50分頃）

※ 参加頂ける方は、11月8日頃までに SUBARU 技術開発部門 OB 会ホームページ「お問い合わせフォーム」からお知らせください。



フォトクラブ 悠 会員募集の案内

これから写真を始めたい方 歓迎します

例会日… 毎月 第2土曜日 AM 9:00～12:00
場所 … 九合行政センター
会費 … ￥5,000／年

詳しいお問い合わせは、(株)SUBARU 技術開発部門 OB 会ホームページ
「 お問い合わせフォーム 」にて、ご連絡をお願い致します。

初級写真講座(無料)などの案内

- フォトクラブ悠主催の写真講座、撮影会などを検討しております。
- ご希望の内容がありましたら、ご記入の上悠会員迄 お渡しください。
- 実施が決まりましたら 皆様ごとにご連絡を 差し上げます。

準備講座名

- | | | |
|-----------|-----|--------------|
| ①家族写真の撮り方 | 座学、 | 撮影練習（子供の国など） |
| ②構図の話 | 座学、 | 撮影練習 |
| ③花の撮り方 | 座学、 | 撮影練習 |
| ④町の夜景撮り方 | 座学、 | 撮影練習 |
| ⑤その他 | | |

[ご希望内容・連絡先を下記にご記入ください]

「思い出の記」第22集の原稿を募集いたします

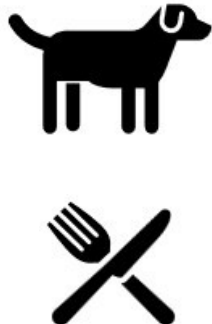
「思い出の記」発刊に際し、日頃より OB の方々のご協力・ご支援をいただき感謝申し上げます。次集第 22 集に向けた投稿を宜しくお願いいたします。

- (1) 現役時代の活動や足跡、趣味や特技の紹介、旅行記、有益情報、写真集、近況報告等々、ジャンルを問いません。長編でも短編でも結構です。
原稿は Word で作成願います。ページ設定やフォント設定は下表を推奨します。

ページ設定の余白：上30、下35、左25、右25
文字数と行数：1行の文字数40、行数37
フォント：原稿のタイトル：MSP明朝 21p
執筆者名：MSPゴシック 15p
本文：MSP明朝 11.5p
写真・図の説明：MSPゴシック 10p

- (2) 前集（第21集）より始めた「会員近況報告…なんでも一言コーナー」は原稿作成の負担を押さえた短編コーナーです。趣味やスポーツ、旅行、ペットやグルメ、健康、日常の出来事、等々…気軽に投稿願います。

投稿原稿がございましたら、2027年12月末までにSUBARU技術開発部門OB会ホームページ「お問い合わせフォーム」からその旨をお知らせください。折返し、原稿の送り先をご連絡いたします。（尚、投稿者には「思い出の記」代を免除いたします）



「思い出の記」担当 木暮敏道